

基本目標 4 暮らしを支える環境の確保

重点課題8 こころのバリアフリーの推進

【福祉のまちづくり推進】

- 福祉のまちづくりは、ハード面の整備だけではなく、ソフト面の「こころのバリアフリー」も大きな役割を占めています。日常生活の場でも、災害時でも地域における支援のネットワーク無しでは、障害者など社会的に不利な立場にある人の安心・安全は確保されません。
- 「地域における支えあい」意識の醸成を、区民と協働して取り組む必要があります。
- 福祉のまちづくりは、障害の有無に関わらず区民一人ひとりが障害を理解することが大切です。

【区民参加の促進、NPOとの協働促進】

- ・ 区民参加を促進し、NPO等との協働により啓発活動を行い「地域における支えあい」意識の醸成を進めます。
ボランティアが活動しやすい環境の整備を行い、ボランティア活動を支援します。

【コミュニケーション支援の充実】

- ・ 手話通訳者の配置などにより、コミュニケーションに対する支援をすすめ、誰もが地域活動に参加しやすい環境の整備を行います。

【疑似体験事業の実施】

- ・ 心のバリアフリーを推進するため、健康まつりや小中学校・児童館において、一般区民、児童・生徒を対象として、高齢者疑似体験セットを使用して、障害者・高齢者疑似体験を行うことで、福祉のまちづくりに関する啓発活動を行います。

【精神障害者の地域における支えあい】

- 誰もが普通に声かけ・見守り・参加できる地域が、精神障害者にとっても住みやすいまちになります。共助の視点にたった地域づくりが大切です。
- 『精神障害者』というだけで、特別な人と思う人がいます。障害者の生きづらさをもっと理解し、地域の一員として暮らせるような啓発活動が必要です。

- ・ 地域社会の一員として暮らしていくために、地域活動や区の実施するイベント等の行事（健康まつりなど）への参加を支援します。
- ・ 精神疾患や精神障害についての、理解の促進、意識啓発を行うとともに、区民・企業のこころの健康づくりも進めていきます。

【障害者団体自主活動支援、文化活動支援】

【いきいき自主活動支援】

- ・ 台東区内の障害者団体が、障害者福祉の向上及び文化スポーツ意欲の向上のために自主的・積極的に行っている事業に対し支援を行うことにより、障害者団体の活性化を図るとともに、障害者の自立と社会参加を促進します。
- ・ 「みんなのひろば祭」を通じて、障害者の社会参加の促進、一般区民等に対する啓発及びボランティアの育成を図ります。

【障害者の文化活動支援】

- ・ 障害のある方が、芸術作品の展覧会などを通じて文化を享受したり、芸術活動の場づくりなど文化を創造するための支援を行います。
- ・ 視覚障害者に対する情報提供として、図書館等におけるCDや点字図書などの収集、貸し出しサービスなどの充実を行います。

【広報・啓発活動】

- ・ 視覚障害や知的障害者にも分かりやすい情報の提供に努めます。
- ・ 引き続き「広報たいとう」や「区議会だより」の音声版の発行を行います。
- ・ 広報や区のホームページを活用し、区民の意識啓発に努めます。

【地域の社会資源活用の促進】

- ・ 福祉分野に限らず、健康分野や社会教育分野など地域にある様々な資源を、障害者にも使いやすいようにするとともに、情報提供等の支援を充実することにより、参加・活用を促進します。